

平成 23 年度 第 4 回 長野市総合計画審議会

資 料 集

資料 1

第四次長野市総合計画 後期基本計画 中間答申 に対するご意見等の募集
～パブリックコメント～

1

資料 2

第四次長野市総合計画 後期基本計画 アンケート指標の調査について

3

別冊資料 1

第四次長野市総合計画 後期基本計画 中間答申 (案)

別冊資料 2

第四次長野市総合計画 後期基本計画 中間答申 概要版

平成 23 年 9 月 29 日

長 野 市

第四次長野市総合計画 後期基本計画 中間答申に対する ご意見等の募集 ～パブリックコメント～

長野市は、平成 19 年に「第四次長野市総合計画」を策定し、「～善光寺平に結ばれる～人と地域がきらめくまち “ながの”」を目指して、様々な施策を総合的・計画的に推進してきました。

総合計画は、長野市を将来どのようなまちにしたいか、そのためには何をすればよいかなど、まちづくりの長期的な基本方針をまとめたもので、基本構想（10 年）、基本計画（5 年）、実施計画（3 年）から構成されます。

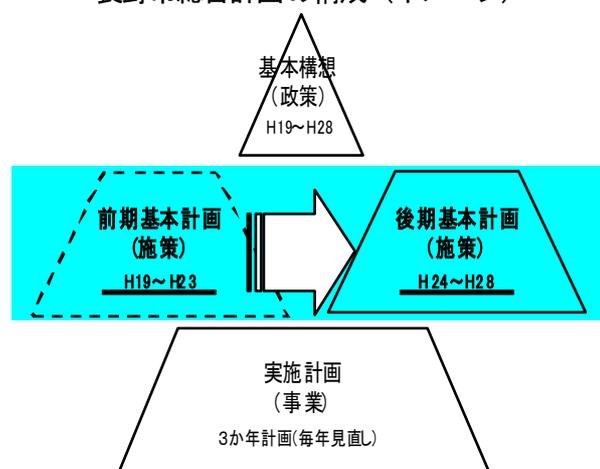
第四次長野市総合計画の策定から 4 年を経過する中で、リーマンショック以降の世界的な景気の悪化、平成 22 年 1 月の旧上水内郡信州新町及び中条村との合併、東日本大震災や長野県栄村を中心とする地震による未曾有の大災害の発生など、長野市を取り巻く社会情勢は変化しています。

このような社会情勢を踏まえながら、長野市では総合計画審議会とその作業部会（市民フォーラム 21）と協働で、第四次長野市総合計画後期基本計画（平成 24 年度～平成 28 年度）の策定を進めています。

このたび、後期基本計画がまとまり、総合計画審議会から中間答申がありましたので、その内容を市民のみなさんに公表し、よりよい計画づくりのために、ご意見等をいただきたいと思います。

みなさんの貴重なご意見等をお寄せくださいますようお願いいたします。

長野市総合計画の構成（イメージ）



1 募集内容

第四次長野市総合計画 後期基本計画 中間答申に対するご意見等（長野市を将来どのようなまちにしたいか、そのためには何をすればよいかなど）

2 募集期間

平成 23 年 10 月 7 日（金）～11 月 14 日（月）

3 閲覧場所

第四次長野市総合計画 後期基本計画 中間答申は、市ホームページのほか、市役所（企画課・行政資料コーナー）及びお近くの支所・連絡所・連絡室の窓口でご覧いただくことができます。

なお、中間答申の概要版（32 ページ）を作成しましたので、参考にご覧ください。

4 ご意見等の提出方法

3 の閲覧場所に掲載・設置した所定の意見用紙などに意見等をご記入の上、次のいずれかの方法によりご提出ください。

- ◇持参の場合は、市役所（企画課・行政資料コーナー）又はお近くの支所・連絡所・連絡室の窓口へ
- ◇郵送、ファックス又は Eメールの場合は、市役所企画課へ

※意見記録の正確さを期すため、原則として電話や口頭によるご意見等の受け付けはいたしません。

5 ご意見等の公表

提出いただいたご意見等につきましては、計画への反映状況等を付し、後日、市のホームページ等で公表いたします。なお、住所・氏名などの個人情報公表いたしません。また、ご意見等の提出者への個別の回答はいたしません。

長野市役所企画課 〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町 1613 番地

TEL:026-224-5010 / FAX:026-224-5103 / Eメール:kikaku@city.nagano.nagano.jp

第四次長野市総合計画 後期基本計画 アンケート指標の調査について

企画政策部企画課

1 調査目的

第四次長野市総合計画 基本構想に掲げるまちづくりの実現に向け、アンケート指標の調査により、後期基本計画の基本施策に関する市民の思い（評価）を数値として把握するものです。

2 調査方法

後期基本計画アンケート指標の調査は、毎年度実施している「まちづくりアンケート」で調査します。

（参考）

「まちづくりアンケート」は、市民のまちづくりへの要望や意見等を把握し、諸施策推進の基本資料とするため、昭和57年度から実施しているもの（広報広聴課担当）です。前期基本計画のアンケート指標も「まちづくりアンケート」で調査してきました。

(1) 調査対象者

基準日現在、住民基本台帳から等間隔無作為抽出した長野市在住の20歳以上の市民5,100人

(2) 調査方式

返信用封筒を同封した質問票送付によるアンケート調査方式

(3) 調査期間

10月下旬から11月上旬（調査期間は約2週間）

3 調査内容（別紙一覧表のとおり）

第四次長野市総合計画 後期基本計画 アンケート指標 44項目とします。

4 調査結果（現状値）

調査結果は、後期基本計画アンケート指標の現状値とします。現状値は、「まちづくりアンケート」の有効回答のうち、調査結果で「そう思う」「ややそう思う」と回答した者の割合とします。

調査結果の速報値の公表は12月、確定値の公表は2月を予定しています。

5 目標値

アンケート指標に目標値を設定し、市民の半数以上が肯定的に評価する50%を一定の満足基準とします。なお、すべての項目において、目標値が満足基準に到達することが望ましいものですが、これまでの調査結果の傾向を踏まえ、前期基本計画と同じ4区分に分け、一つ上位の区分を目指すこととします。（平成23年度第3回総合計画審議会確認事項）

現状値；市民アンケートの有効回答のうち「そう思う」「ややそう思う」と答えた市民の割合を表示しました。アンケートは毎年実施します。

目標値；現状値を下表のとおり4区分し、少なくとも一つ上位の区分を目指すように目標を設定しました。なお、アンケートで半数以上の市民が肯定的に評価する50%を一定の満足基準とします。

現状値の区分	H28目標値の表記	考え方
70%以上	70%以上	高い評価を今後も継続していく
50%以上～70%未満	70%以上	一定の評価を受けるが更に上位を目指す
25%以上～50%未満	50～70%	市民の半数が肯定的に評価する50%以上への到達を目指す
25%未満	25～50%	評価や理解が低く少なくとも一段上への改善を要す

第四次長野市総合計画 後期基本計画 基本施策のアンケート指標一覧

基本 施策 番号	基本施策名称	アンケート指標項目(市民が思う割合)
011	市民とともにつくる市政の実現	市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている
021	住民自治の推進	地域で自治会や住民グループが積極的に活動している
022	中山間地域の振興	山あいの地域で、農業や自然を活用した地域づくりが行われている
031	自立した地方行政の推進	地方の拠点都市または県都「長野市」として周辺地域をリードしている
032	都市間連携・交流の推進	他の都市との間で観光や文化など、市域や県域を越えた交流や協力がある
041	効率的な行財政運営の推進	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる
051	市民の満足が得られる市役所の実現	市役所の職員の対応や取組は好感が持てる
111	子育て・子育て環境の整備	安心して子どもを産み育てることができる環境が整っている
121	高齢者福祉サービスの充実	高齢者向けの福祉・介護サービスが地域で受けられる環境が整っている
122	高齢者の社会参加の促進	高齢者が地域社会でいきいきと活躍できる環境がある
131	障害者(児)福祉の充実	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている
132	地域福祉社会の実現	地域や隣近所で互いに支え合い助け合う関係が築かれている
141	保健衛生の充実	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている
142	地域医療体制の充実	専門医療や救急医療を受けられる体制が整っている
151	人権尊重社会の実現	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている
152	男女共同参画社会の実現	男女が尊重しあい、等しく参加・活躍できる地域社会が築かれている
211	総合的・計画的な環境対策の推進	地域・企業・行政が一体となった地域全体の環境保全が行われている
212	良好な自然環境の確保	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある
221	省資源・資源循環の促進	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取組が盛んである
231	生活環境の保全	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている
232	上下水道等の整備	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている
233	緑化・親水空間の充実・創造	やすらぎや潤いを感じられる公園や河川が整備されている
311	防災対策の推進	地震や水害などに対する地域での防災体制が整っている
312	消防・救急・救助体制の充実	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている
321	日常生活の安全性の向上	消費者トラブルや交通事故・犯罪の起こりにくい地域がつけられている
411	魅力ある教育の推進	子どもたちが、いきいきと学ぶ環境が整っている
412	家庭・学校・地域の連携による教育力の向上	地域ぐるみで子どもを育てていく環境がある
421	活力ある地域を創る生涯学習の推進	文化・教育・趣味の講座など学びたいことを学ぶことができる環境が整っている
431	多彩な文化の創造と文化遺産の継承	歴史・文化の保存や継承が適切に行われている
441	スポーツを軸としたまちづくりの推進	子どもから高齢者までだれもが気軽にスポーツに取り組める環境が整っている
451	国際化の推進	外国の人や文化との交流が行われている
511	多様な観光交流の推進	自然や歴史資源を活用した魅力ある観光都市づくりが行われている
521	未来に向けた農業の再生・振興	競争力があり価値が高い農産物が生産されている
522	中山間地域の農業振興	山あいの地域で、いきいきと農業の生産活動が行われている
523	豊かな森林づくりと林業の振興	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている
531	産業の集積と工業の活性化	工業や製造業に活気がある
541	力強い商業への転換	個性的で魅力的なお店が増えている
551	安定した地域雇用の確保	働きたい人が仕事につきやすい環境がある
611	多核心連携を目指したコンパクトなまちづくりの推進	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている
612	快適に暮らせるまちづくりの推進	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮しやすいつくりとなっている
613	地域の特性をいかした景観の形成	歴史的街並みや自然環境に調和した景観が整備されている
621	交通体系の整備	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている
622	道路網の整備	日常生活において、使いやすい道路が整備されている
623	高度情報化の推進	高速インターネットなどの情報通信サービスを利用できる環境が整っている

基本施策 44 (アンケート項目 44)